

学校教育目標	かしこく なかよく たくましく 心ゆたかに
目指す学校像	学びを実感できる学校 安心で安全な学校 信頼され、地域の誇りとなる学校
重点目標	1 教育指導の水準向上 2 自発的・主体的な児童の成長をさせる生徒指導・教育相談の充実 3 安心で安全な教育の推進と環境整備 4 学校・地域・家庭との一層の連携 5 教師力向上と機動力のある組織

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心をサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学 校 自 己 評 価		年 度 評 価			学校運営協議会による評価		
年 度 目 標		年 度 評 価			実施日令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<現状> ○昨年度全国学力・学習状況調査では全国平均と比べて国語、算数共に全国平均を上回り、市学習状況調査でも概ね平均に達している。 ○市の学習状況調査では、自尊意識の質問項目で市の平均より学校全体では2P程度高い。 ○授業に落ち着いて真面目に取り組む児童が多い。 <課題> ○日頃の授業において既習事項をもとにした「自分の思いや考えを表現する力」を高める必要がある。 ○主語や述語、修飾語についての理解について、継続した課題となっている。 ○授業などに意欲的に取り組む児童が多いが、主体的に学習に取り組む状態には至っていない。	・アクティブ・ラーニング型授業を意識した授業改善	①学びのポイント「じ・し・や・く」を合言葉に授業に取り組む。 ②目標設定と振り返りを重視した授業を展開する。	①学校評価アンケート(児童)「わかりやすい授業」の項目で肯定的評価が95%に到達しているか。			
		・魅力的な体育授業の展開と他教科・領域への研究成果の拡充	①教育委員会から指導者を招聘し、学校課題研修の方向性や手立てについて指導、助言をいただく。 ②学校課題研修で取り組んできた研究をまとめ、手立ての検証を行い、各自の授業で実践する。 ③年間を通して全ての教員が1人2回の授業公開を行い、管理職と交流を行う。	①学校評価アンケート(教職員)「教職員が学び合い、協働している」の項目で肯定的評価が95%に達成している。 ②1人2回の授業公開を行い、管理職と交流を行うことができたか。			
2	<現状> ○昨年度市の学習状況調査では「学校に行くのが楽しい」の設問に肯定的回答をする児童が多く、市の平均を1.8P程上回っている。 ○困ったときに相談しようと思うかを問う設問について肯定的回答は市の平均を全ての学年で上回っている。 <課題> ○スクールダッシュボードを活用し、児童を支援する仕組みを確立する必要がある。 ○教室に入れない児童や配慮を要する児童について学校全体で把握し組織的な取組を促進する必要がある。	・児童一人ひとりの実態の把握と教育支援・教育相談体制の確立	①「心と生活のアンケート」やスクールダッシュボード等を活用する。 ②3部会(生徒指導、教育相談、特別支援教育)及び児童理解研修を6回開催する。 ③事案に応じ、随時ケース会議を開き、組織的に迅速な対応を行う。 ④事案に対して、定期的な「見届け」を行う。	①「心と生活のアンケート」やスクールダッシュボード等客観的なデータに基づいた教育支援、教育相談を行うことができたか。 ②児童理解研修を計画通り実施することができたか。 ③ケース会議を適切に開催し、支援の方向性を整理することができたか。			
		・さくらんルームの活用と関係機関との連携	①さくらんルームの教職員間や保護者面談の共通理解を得る場面でマニュアルを用いる。 ②SCやSSWと情報共有や対応の方向性について話し合う場を設ける。 ③校外の関係機関と情報共有を進め、	①マニュアルを活用しさくらんルームを利用・活用することができたか。 ②学校評価アンケートの保護者からの相談の項目で肯定的評価が85%に達しているか。			
3	<現状> ○地域の児童センター、福祉協議会、デイサービスセンターなど学校と地域の施設との関わりが深く協力的である。学校支援のボランティア、PTAからの支援も得ながら学校としての協働活動が実施されている。 <課題> ○デイサービスセンターとの交流をメインにした豊かな心を育む活動について、見直しをもった活動プランを学校、保護者、地域で共有していく必要がある。 ○学校の状況をホームページやスクリーン、学校安心メールを有効活用し定期的に情報発信する必要がある。	・学校の情報発信と地域施設との協力体制の継続	①学校の情報発信をホームページやスクリーンを活用して定期的に行う。 ②デイサービスとの日常的な交流と地域の施設との学習、行事での関わりを教育課程上に位置付ける。	①学校評価アンケート(保護者)の情報公開の項目で肯定的評価が95%に達しているか。 ②教育課程上にデイサービスとの交流が各学年位置付けているか。			
		・学校運営協議会を核とした家庭・地域との連携	①学校運営協議会での地域連携について熟議を行う。 ②学校運営協議会の内容を周知する。 ③PTA活動、図書・学習ボランティア活動で協力・連携を図る。	①学校評価アンケート(保護者)の地域連携の項目で肯定的評価が95%に達しているか。 ②PTAの旗振りや行事の際の連携、図書、学習ボランティア活動で連携することができたか。			
4	<現状> ○校舎は築年数の割に雨漏りなどが少ない。 ○ICT機器等の管理も含め、本校のルールに基づいて、必要機器等が管理されている。 <課題> ○児童の安全を確保するための計画的、組織的な安全点検の実施が求められる。 ○計画的に施設修繕、備品の修繕、入れ替えを進める必要がある。	・安全・安心な教育活動の推進と環境整備	①施設設備等の状況一覧を作成する。 ②懸案個所に挙げられる修繕・対応が必要な個所については児童の安全を第1として早急に対応する。 ③校内巡視(毎日)、安全点検(毎月)を確実に実施し、組織的に対応する。	①施設設備等の状況一覧を作成し、一覧に基づき、必要に応じて整備等を進めることができたか。 ②定期的な安全点検に基づき、適切な修繕を行うことができたか。			
		・教材・教具及び学習室の計画的な管理・補充	①教材・教具の補充について、計画を立案し計画的な補充・入れ替えを行う。 ②クラス数増を念頭に、教室配置及びさくらんルーム・相談室等の設置について計画を立てる。	①学校評価アンケート(教職員)の施設・設備の項目で肯定的評価が95%に達したか。 ②学習室の整備、教材・教具の補充・入れ替えを計画的に実施することができたか。			
5	<現状> ○体育科の校内課題研究を中心に積極的に授業公開するなど、授業力を高め合う土壌がある。 ○これまでの経験や校務分掌から、積極的に自己の力量を高めようと研修を受講したり、試験に臨んだりする教職員が多い。 <課題> ○教職員一人ひとりのキャリアビジョンを明確にする必要がある。 ○ワークライフバランスを維持した上で、教職員の指導力向上を図るための研修等の実施について教職員間の合意形成と研修及び教材研究を行える時間の確保が必要である。	・教職員一人ひとりのキャリアビジョンの明確化	①当初面談による中長期的な目標や希望する研修・役割を確認する。 ②キャリア段階に応じた役割や活躍の機会を用意し、定期的に振り返りの機会と管理職による定期的な対話により、目標達成状況を確認する。	①各職員が、設定した目標に向けて研修に取り組み、自己評価シートの研修について95%がB評価以上に達したか。			
		・教職員の健康及び福祉の確保	①研修の進め方について校内での共通認識を確立するため企画運営委員会、研修推進委員会、全体会で話し合いをもつ。 ②年度初め、年度末を中心に放課後の時間を確保し、会議等の精選を図る。 ③休暇取得、定時退勤日における定時退勤の実施状況を確認の確認と、計画的に休みが取れるよう、補助体制を確立させる。	①学校評価アンケート(教職員)の「働きやすい環境づくり」の項目で肯定的評価が90%に達したか。 ②ストレスチェック集団分析結果での健康リスクが65以下を維持することができたか。			

学校運営協議会からの意見・要望・評価等